

あおもり産木材地産地消ガイドブック 2024

青森の木と暮らす

Made in Aomori House

Special Feature

青森県内初の
3階建て木造校舎
六戸学園

第17回 あおもり産木材活用
建築コンテスト作品集

Made in Aomori House

県産材地産地消ビルダー実例13

青森県森林組合連合会

【連合会の概要】

青森県森林組合連合会は、
県内の森林所有者で組織する森林組合によって組織された団体で、
森林の整備や保護、木材の販売や生産など森林・林業に関わる仕事を通じて、
地域の森づくりや森林経営への貢献を目指しています。



青森県森林組合連合会 代表理事会長 須藤 廣明

〒030-0813 青森市松原一丁目16-25 TEL017-723-2657 FAX017-723-1505





AD PAGE

協賛企業・団体

Cover Photo

表紙写真：2024年度第17回あおり産木材活用建築コンテスト
【非住宅新築部門】木づかい大賞（知事賞）受賞作品
株式会社 建築工房 青森設計室「一般社団法人 日々木の森」

CONTENTS

04

Special Feature

[特集] 六戸町立義務教育学校

六戸学園

08

AOMORI WOOD ARCHITECTURE CONTEST 2024

2024年度 第17回

あおり産木材活用建築コンテスト作品集

19

Made in Aomori House

県産材地産地消ビルダー実例 13

20 株式会社 大山建工

24 株式会社 ヤマノアーキテデザイン

28 企業組合 県木住

32 有限会社 キーポイントホーム

36 株式会社 日本の窓

40 1952HINOKIYA 一級建築士事務所／有限会社 赤穂工務店

44 1952HINOKIYA 一級建築士事務所／有限会社 家口建設

48 株式会社 木組工務店（シェアオフィス BLUE）

52 株式会社 木組工務店（青森ねぶたサウナ）

54 株式会社 木組工務店（サードプレイスミサワ）

56 株式会社 木組工務店（みんなのいばしょ あご〜る）

58 有限会社 林工務店

62 有限会社 岩木建設

66

Aomori Wood Fan Event

チーム県産材「縁むす日」

70

Aomori Wood Reform Event

株式会社 今井産業「2024 住まいとお庭のリフォームフェア」

74

Aomori Wood Story_no.1

県産材ストーリー [第1回] 天然青森ヒバ造りの五重塔

表2 青森県森林組合連合会

76 株式会社 小倉内装

77 NICOSTOCK Furniture

78 青森県木材協同組合

79 青森県製材 JAS 認証工場

表3 青森県優良住宅協会

表4 株式会社 北電

Special Feature

[特集]

六戸町立義務教育学校

六戸学園



2025年4月開校、
青森県内初の3階建て木造校舎
9学年の児童生徒たちが共に過ごす
ぬくもりある学び舎

六戸町では、町内にある小学校3校（六戸小、開知小、大曲小）、
中学校2校（六戸中、七百中）を1校に再編し、
9年間の小中一貫教育を行う「六戸町立義務教育学校六戸学園」を2025年4月に開校します。
青森県内の義務教育学校は、六戸学園が初。

文・写真=佐藤 史隆 イメージパース=八洲建築設計事務所 資料協力=六戸町
text/photo:Fumitaka Sato perspective drawing:YASHIMA Architecture & Engineers Office. Material:Rokunohe Town



六戸町立義務教育学校六戸学園完成イメージ。(道路側外観)

木造3階校舎に 全国の建築関係者も注目

六戸学園は、建造物としても大きな注目を集めており、木造3階建て校舎は国内に数例しかなく、県内では初めて。2024年6月11日に実施された構造躯体見学会には、全国の建築関係者も多数訪れました。校舎の設計監理は(株)八洲建築設計事務所、施工は日本国土開発・佐藤建設工業・中屋敷建設特定建設工事共同企業体が担当しました。

2024年6月11日に実施された構造躯体見学会。県内自治体職員や全国の建築関係者など約360名が参加した。



校舎の木材の約9割に県産材を使用



2024年6月の構造躯体見学会の様子。大きな柱の前や梁がめぐらされた天井の下で担当者による説明が行われた。

校舎はA、B、C、D棟（木造3F建て）、屋内運動場のE棟（鉄骨造、3F建て）、図書館のT棟（木造、一部2F建て）などから構成されています。

校舎の延べ床面積は約1万5千平方メートルで、木造部分の延べ床面積は約1万3千平方メートル。木材は約9割が県産材で賄われています。木材使用量は2,343立方メートルでそのうち、地元の木材が使用されたLVL材（※1）が約87%を占めます。（LVL材の樹種内訳は、カラマツが993m³、スギが1,044m³）

耐火、耐震の対策も施され、耐火については木造箇所60分耐火仕様、3F建て校舎の耐震については、ラーメン構造（※2）とブレース構造（※3）の併用による耐震システムを採用。

（※1）LVL材（Laminated Veneer Lumber）：丸太をかつら剥きのように2～4mmにスライスした単板を、単板の繊維方向が平行になるように積層・接着した木質建材。加工しやすいことや、原木から製品化の過程での製品化率もCLT材や集成材より格段に高いことが特長。

（※2）ラーメン構造：柱と梁を剛で接合し、一体的に荷重を支える構造形式。

（※3）ブレース構造：ラーメン構造に斜材（ブレース）を配置して水平剛性を高める構造形式。



薄くスライスした単板を重ねて作られるLVL材。
校舎の木材は、青森県産材使用のLVL材が多くを占める。
（2024年6月の構造躯体見学会にて）



ラーメン構造を解説する展示。（2024年6月の構造躯体見学会にて）



校舎の大きな見どころのひとつとなる「大階段」。

校舎全体が、 木質構造を感じる空間

学園の象徴的な場所となるだろう「大階段」は、9つの学年の児童生徒たちが垣根を越えた交流ができるようにと設計されました。また多目的ホールを兼ねる長い廊下や、走ったり遊ぶこともできるバルコニーなどもあり、学校生活をより充実させてくれるはず。きっと卒業してからも、木材の存在感ともに記憶に残り続けることでしょう。

校舎は、2025年の春から9学年約850人の学校生活が始まります。学校統合により新しい環境となり、児童生徒たちには楽しみも不安もあるかもしれません。そんな中、この青森県産木材をふんだんにつかった校舎のぬくもりは、安心感を与えてくれるに違いありません。



児童生徒たちにさまざまな活用をしてもらおうと設置された多目的ホール。

DATA 施設概要

- 施設名：六戸町立義務教育学校六戸学園
- 構造及び階数：木造一部RC/S3階建て
- 延床面積：14,129.15㎡

- 建築主：六戸町
- 設計監理：株式会社 八洲建築設計事務所
- 構造設計：株式会社 ANDO Imagineering Group / AIG
- 施工：日本国土開発・佐藤建設工業・中屋敷建設 特定建設工事共同企業体